学校教育委員会の活動

学校教育委員会は、地球科学の研究成果を教育機関・教育関係者を通じて社会に還元することを目的として、平成7年（1995年）兵庫県南部地震の発生を機に設立されました。現在の委員は、高校教員4名、小学校教員1名、大学教員3名、研究開発機関の研究員1名の計9名です。

本委員会の主な活動は、教育関係者相互、および研究者と教育関係者間の交流の場となるネットワークを構築したり、教育関係者への情報・データを提供したりすることです。その一環として、1996年以降、教員や教員志望の大学生を対象とした「教員サマースクール」を行ってきました（2020～2021年はCOVID-19等のため、オンラインでの「教員ウィンターミーティング」を実施）。2009～2021年には学会員の協力を得て、毎年全国の約10か所で「教員免許状更新講習」を開催しました。また、秋季大会に合わせた「地震の教室」（教材等を紹介する教員向け教室、地震計を手作りする親子向け教室）を2014年から2024年までの間に計8回開催してきました。昨年度から「地震の教室」は、各地の学校教員が集まるイベントに出展する形式で実施しています。

教員サマースクール

「地震計のいまむかし」（2026年8月16日～17日）

今年度の教員サマースクールは、「地震計のいまむかし」をテーマに、東京大学地震研究所、地震計メーカーの勝島製作所、気象庁を訪ねました。小・中・高の教員の方々や科学コミュニケーターなど、29名が参加しました。

2日間のスクールでは、初日に地震研究所で地震計博物館や免震建物の基礎の見学を行い、寒天ゲルを用いた室内地震探査実習装置による講義を受けました。2日目は午前に勝島製作所（賛助会員：本大会で企業展示あり）で教材用簡易地震計の製作実習と工場見学を実施し、午後に気象庁で講義を受けたあとオペレーションルームなどを見学しました。





2026年 教員サマースクール



2025年 教員サマースクール

■最近の開催内容（2009年～2019年は教員免許状更新講習と合わせて開催）

2019年 「跡津川断層と神岡鉱山－地球の息吹きを探る」
2022年 「妖怪の足音ききくらべ －地震計をもって境港と溶岩の島をあるくー」
2023年 「伊豆衝突帯 －丹那断層や地震観測点を巡るー」
2024年 「平成7年（1995年）兵庫県南部地震による災害のその後と今後の大地震への備え in Osaka」
2025年 「みちのくで学ぶ大地の息吹 －2008年岩手・宮城内陸地震の痕跡をめぐるー」

地震の教室

2014年～2024年の間に計8回、地震の教室（親子向け）および地震の教室（教員・一般向け）を開催してきました。親子向け教室は地震計などを手作りする教室で、関西地震観測研究協議会広報分科会の協力を得て実施したものです。教員・一般向けでは小・中・高校教員を主な対象に地震に関する教材等を紹介しました。

■最近の開催地

2023年11月3日　はまぎん こども宇宙科学館
2024年10月20日 新潟県立自然科学館





2023年の会場のようす



全国理科教育大会盛岡大会での
地震の教室

2024年からは、各地の教員が集まるイベントにおいて、地震に関する教材等を紹介するブースを出展する形式にしています。

■最近出展したイベント

2025年8月8日　全国理科教育大会岩手大会（日本理化学協会主催）科学の広場
2025年8月21日埼玉県私学協会理科教育研究会 研修会
2026年4月26日 科学教育研究協議会神奈川支部
「第30回 神奈川の理科教育を考える集い」